

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2022年8月30日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	川崎臨港倉庫埠頭株式会社
所 在 地	川崎市川崎区千鳥町7番1号
代表者役職・氏名	代表取締役 高橋 哲也
担当者連絡先	電話: 044-589-5919 メール: h.ikegame@rinko-soko.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.rinko-soko.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は、昭和35年に設立された倉庫業を営む川崎市が出資する第三セクターであり、平成26年度よりコンテナターミナル運営業を開始し、川崎港コンテナターミナルの管理運営を行っています。

倉庫業に関しては、昭和35年の設立以来、公共ふ頭に立地する優位性を活かし、川崎港を利用する貨物を中心に地元地域の声に応えながら公共ふ頭の利便性を高め、自社で保管倉庫を有することができない地元中小港湾業者へ向けた、低廉かつ安定した保管場所の提供に取組むなど、公共性・公益性豊かな事業展開を実現し、川崎港並びに地元港運業界の発展に寄与しています。

川崎港コンテナターミナルの管理運営に関しては、川崎市有財産であるコンテナヤード等は京浜港（横浜港・川崎港）の特定港湾運営会社である横浜川崎国際港湾株式会社と共同事業体を組み、川崎市より指定管理者と指定され、また、国有財産である岸壁は、横浜川崎国際港湾株式会社から借り受け、コンテナヤード等と岸壁を一体的効率的な管理運営を行っています。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	年間のCO ₂ 排出量を削減するため、照明のLED化を推進する。	【現状】0t-co ₂ （削減量） 【目標】22.137995t-co ₂ （削減量）
✓環境 ✓社会 ✓経済	地域経済活性化と環境負荷低減のため、当社が発注する役務や工事等について、近隣企業との契約件数比率を高める。	【現状】89.7%（契約件数比率） 【目標】92.1%（契約件数比率）
✓環境 ✓社会 □経済	平屋倉庫10棟の庫内温度上昇を抑制し、労働環境を改善する目的で、折板屋根に遮熱塗料を塗装して室内温度を低下させる。	【倉庫全体】 13,170.0 m ³ 【現 状】更新 1,260.1 m ³ (9.6%) 【目 標】更新 11,909.9 m ³ (90.4%)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・不要な紙を廃棄するのではなく、ペーパーリサイクルボックスを導入し、リサイクルに努めている。 ・再生紙を利用している。 ・エコマーク商品の購入等、グリーン購入を実践している。 ・燃えるゴミ・プラスチックごみ・ペットボトル・段ボール等を分別して廃棄するよう努めている。											11.6	12.4 12.5	14.1		
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を図っている。								7.3				13			
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減に取り組んでいる。							7.2 7.3				12.4	13.3			
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4			
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6								15		
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6										
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7				12	13.3	14	15	
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・環境の取り組みに関する情報をホームページで開示している。											12.6				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・倉庫の屋根を利用した太陽光パネルの設置による発電事業及び電気供給・販売等に取り組んでいる。					7.2						13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15	
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・定期的に施設を巡回することにより、安全性等を確認し、改善に取組んでいる。			3.9								12.4				
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・長期修繕計画を策定し計画的に修繕を実施するとともに定期的に利用者の意見等を聴取し、サービスの向上を図っている。								9							
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6						12	13	14	15	

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1 1. 持続可能な開発目標	2 2. 経済成長	3 3. 社会的不平等の削減	4 4. 経済成長	5 5. 経済成長	6 6. 経済成長	7 7. 経済成長	8 8. 経済成長	9 9. 経済成長	10 10. 経済成長	11 11. 経済成長	12 12. 経済成長	13 13. 経済成長	14 14. 経済成長	15 15. 経済成長	16 16. 経済成長	17 17. 経済成長
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・津波避難施設として施設を開放するとともに災害時に自動販売機の飲料水を無償提供できるよう自動販売機業者と契約している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・川崎港の発展に向け、地元企業の事業活動を支えるとともに、多様な主体と連携した様々な活動を通じて、地域社会に貢献している。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・日本赤十字社・赤い羽根共同募金等への寄付や、東扇島クリーン大作戦、川崎港放置自動車等対策連絡協議会に参加する等し、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	・川崎市内業者へ工事等の優先発注に努めている。									8	9		11	12	13			
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・SDGsの達成に向け、社内で共有している。									8	9							17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している																		16
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																		16
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）																		16 17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																		16
33	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・環境保全に取り組むことは、企業の社会的責任となりつつあることから、全社一丸となってSDGs推進の貢献に努めている。																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・（予定）BCPを作成し、事故や災害等の発生時に事業継続できるよう努めている。									9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている										8	9							17

上記以外で設定した取組項目

(様式第4号)

令和5年10月10日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 神奈川県川崎市川崎区千鳥町7番1号
名称： 川崎臨港倉庫埠頭株式会社
代表者： 代表取締役 高橋 哲也
登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	年間のCO ₂ 排出量を削減するため、照明のLED化を推進する。	22.137995t-CO ₂ (削減量)	【令和4年度比較】 26.920499t-CO ₂ (削減量)
✓環境 ✓社会 ✓経済	地域経済活性化と環境負荷低減のため、当社が発注する業務や工事等について、近隣企業との契約件数比率を高める。	【目標】86.6% (契約件数比率)	【令和4年度】 82.1% (契約件数比率)
✓環境 ✓社会 □経済	平屋倉庫10棟の庫内温度上昇を抑制し、労働環境を改善する目的で、折板屋根に遮熱塗料を塗装して室内温度を低下させる。	【倉庫全体】13,170.0 m ² 【目標】更新 11,909.9 m ² (90.4%)	【令和4年度】更新 1,544.6 m ² (11.7%) 【令和4年度まで】更新 2,804.7 m ² (21.3%)

(様式第4号)

令和6年10月15日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地：	川崎市川崎区千鳥町 7-1
名 称：	川崎臨港倉庫埠頭株式会社
代 表 者：	代表取締役 高橋 哲也
登録年月日：	令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	年間のCO ₂ 排出量を削減するため、照明のLED化を推進する。	22.137995t-co ₂ (削減量)	【令和5年度比較】 22.984815t-co ₂ (削減量)
✓環境 ✓社会 ✓経済	地域経済活性化と環境負荷低減のため、当社が発注する業務や工事等について、近隣企業との契約件数比率を高める。	【目標】86.6% (契約件数比率)	【令和5年度】 80.5% (契約件数比率)
✓環境 ✓社会 □経済	平屋倉庫10棟の庫内温度上昇を抑制し、労働環境を改善する目的で、折板屋根に遮熱塗料を塗装して室内温度を低下させる。	【倉庫全体】13,170.0 m ² 【目標】更新 11,909.9 m ² (90.4%)	【令和5年度】更新 2,804.7 m ² (21.3%) 【令和5年度まで】更新 5,609.4 m ² (42.6%)

(様式第4号)

令和7年10月23日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	川崎市川崎区千鳥町7-1
名称：	川崎臨港倉庫埠頭株式会社
代表者：	代表取締役 高橋 哲也
登録年月日：	令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	年間のCO ₂ 排出量を削減するため、照明のLED化を推進する。	22,137.995t-co ₂ (削減量)	【令和6年度比較】 4,385.615t-co ₂ (増加量)
✓環境 ✓社会 ✓経済	地域経済活性化と環境負荷低減のため、当社が発注する業務や工事等について、近隣企業との契約件数比率を高める。	【目標】86.6% (契約件数比率)	【令和6年度】 77.5% (契約件数比率)
✓環境 ✓社会 □経済	平屋倉庫10棟の庫内温度上昇を抑制し、労働環境を改善する目的で、折板屋根に遮熱塗料を塗装して室内温度を低下させる。	【倉庫全体】13,170.0 m ³ 【目標】更新 11,909.9 m ³ (90.4%)	【令和6年度】更新 2,502.2 m ³ (19.1%) 【令和6年度まで】更新 8,129.6 m ³ (61.7%)